

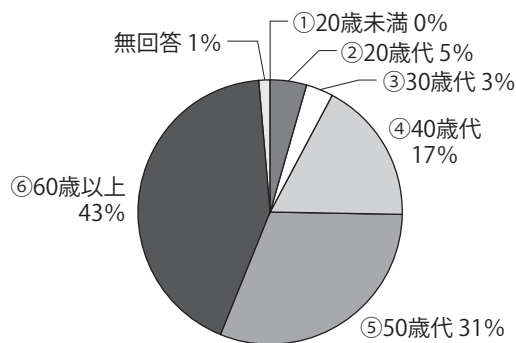
東京会場

# アンケート集計結果



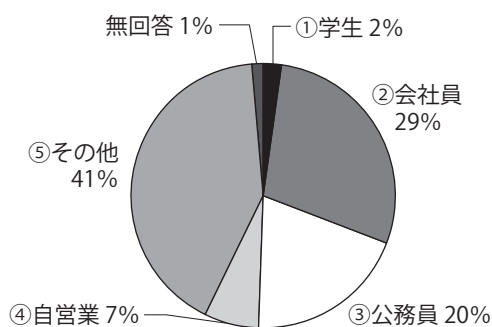
### 1 年齢構成

① 20歳未満	0 人
② 20歳代	4 人
③ 30歳代	3 人
④ 40歳代	15 人
⑤ 50歳代	27 人
⑥ 60歳以上	37 人
無回答	1 人



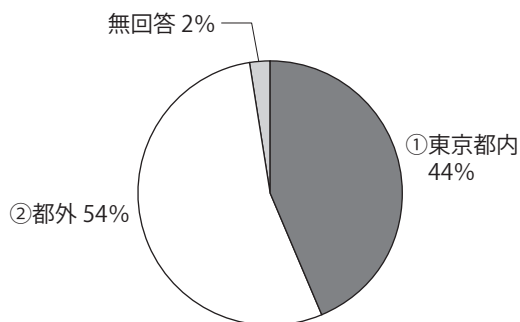
### 2 職業構成

① 学生（小・中・高・大・他）	2 人
② 会社員	25 人
③ 公務員	17 人
④ 自営業	6 人
⑤ その他	36 人
無回答	1 人



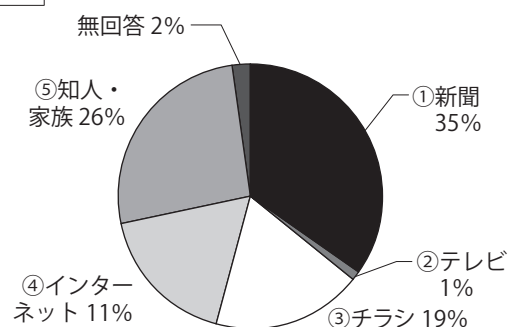
### 3 住まい

① 都内	38 人
② 都外	47 人
無回答	2 人



### 4 本シンポジウムを知ったきっかけ（複数回答）

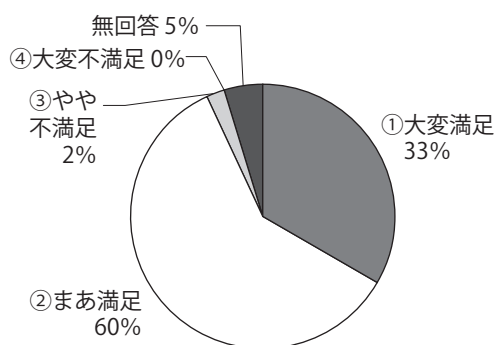
① 新聞	32 人
② テレビ	1 人
③ チラシ	17 人
④ インターネット	16 人
⑤ 知人・家族	24 人
無回答	2 人



### 5 本シンポジウムについて

#### (1) 全体満足度

① 大変満足	29 人
② まあ満足	52 人
③ やや不満足	2 人
④ 大変不満足	0 人
無回答	4 人



## (2) 自由記入欄より

〈なすびさんのお話〉 環境省の除染プラザで“なすびのギモン”をされていることは知っていましたが、エベレスト登頂や、講演を聞くのは初めてでした。エベレスト登頂の映像は泣けて涙が止まらなかったです。二度の失敗-深さがあります。多くの福島の方への応援になったと思います。息の長い復興支援活動、すばらしい決意を持ち続けてがんばって下さい。陰ながら応援しております。本当にありがとうございました。

シンポジウム基調報告・ディスカッションとも良かった。  
被災地の状況、課題が良く分かりました。お一人お一人の活動がねばり強く、一つ一つの壁を乗り越えながら継続していらっしゃるのとても参考になりました。

・第1部のパネルディスカッション  
様々な角度からの質問に、それぞれの立場からパネリストの皆様が体験に基づいた解答、メッセージを発信して下さい、一言一言が心に残りました。「被災者を面ではなく点で見る」「震災前の状況に全てを戻すことはできないが、新しい何かを創ることはできる」「被災地と他の地域、企業がつながる」「作物の風評被害の問題」。今日、学んだこと、考えたことをこれからに生かしていきたいと思います。

すべての方から、今そこにあるチャレンジを越えていくこと、そこで知った人（なすびさんとか）をサポートしていくことが人権尊重につながる、というメッセージがあり、自分ですべきことを認識できた。

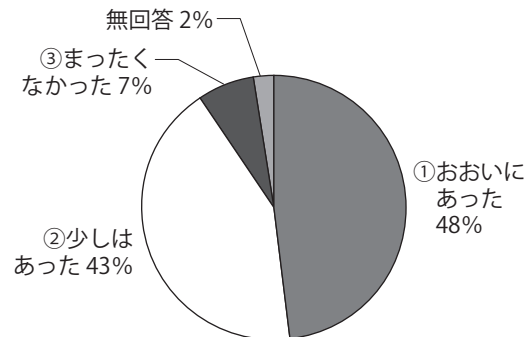
〈パネリストによる基調報告、パネルディスカッション〉の中から、

- ・孤立した高齢者への就労や見守りの難しさ
- ・震災前の日常生活には戻れない、今が日常、向上心をもって取り組んでいく
- ・震災から学び次の段階を考えていく

※主な回答を抜粋

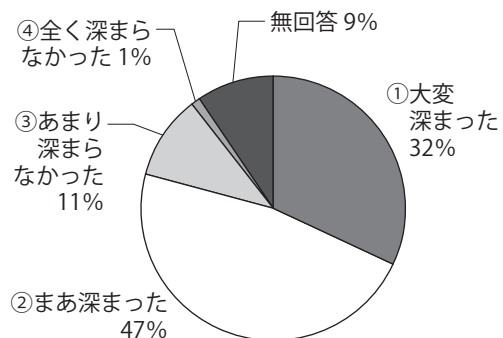
## 6 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があったか

① おおいにあった	42 人
② 少しはあった	37 人
③ まったくなかった	6 人
無回答	2 人



## 7 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか

① 大変深まった	28 人
② まあ深まった	41 人
③ あまり深まらなかった	9 人
④ 全く深まらなかった	1 人
無回答	8 人

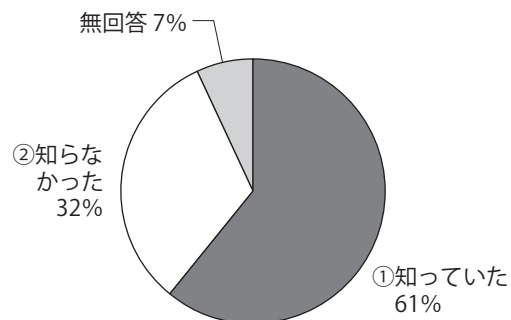


### 8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

① 被災地支援を行いたい	27 人
② 今後起こりうる震災・災害に備え、防災対策を行いたい	24 人
③ 人権侵害の加害者にならないよう気を付けたい	25 人
④ 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	39 人
⑤ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会をもちたい	32 人
⑥ 今回のイベントの内容を、友達や家族に説明し、話し合いたい	26 人
⑦ ほかに人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	34 人
⑧ その他	3 人
無回答	10 人

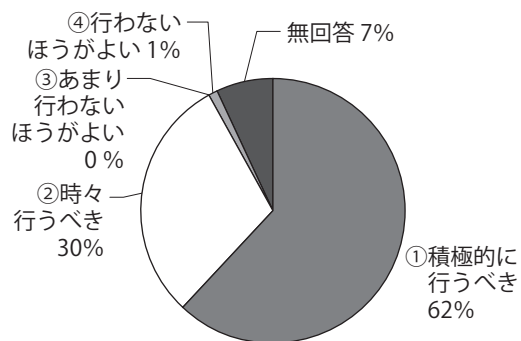
### 9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	53 人
② 知らなかった	28 人
無回答	6 人



### 10 今後、このようなシンポジウムを行うべきだと思うか

① 積極的に行うべき	54 人
② 時々行うべき	26 人
③ あまり行わないほうがよい	0 人
④ 行わないほうがよい	1 人
無回答	6 人



**11 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催してほしいテーマなど（自由記入）**

聴覚障がい者のために、手話通訳やパソコンを使った逐語提示（パソコン要約筆記）を行うといった配慮がされていて感動しました。手話通訳者の方、おつかれさまでした。質疑応答の場面もあって深まりをもつことができました。

環境と人権、福祉と人権、高齢者認知症と人権、高齢者統合失調症と人権

“震災と人権” 2011.3.11を風化させず、被災地の方々の現状を知り、東京に暮らす自分に何ができるのか、改めて考える良い機会になりました。ありがとうございました。なすびさんのトークショーも大変親しみやすく、故郷福島を思う強い心が胸を打ちました。なすびさんを応援します。今年で20年目の阪神・淡路大震災の問題も、遺族や故郷を失くされた方にとっては決して“終わったこと”ではありません。取りあげていただきたいテーマの1つです。“自死”の問題もよろしくお願いします。

障がい者の雇用差別、ヘイトスピーチなど外国人差別、SNSを使った人権侵害

人の持つ権利を全ての範囲を取り上げる事はかなり難しいと思う。個人の他、公民（企業、組織）の権利の追求を試みることに、社会としての意義を持つと考えます。

※主な回答を抜粋



## 広報内容

### 広報実績

No.	事項	実施内容
1	新聞広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1紙に半5段広告を掲載。 読売新聞（東京本社版）：平成26年12月22日（月）・夕刊</li> <li>・ 1紙に半2段広告を掲載（パブリシティ）。 毎日新聞（東京本社版）：平成26年12月26日（金）・夕刊</li> <li>・ 1紙に小枠広告（一面・左・突出し）を掲載。 読売新聞（東京本社版）：平成27年1月5日（月）・夕刊</li> <li>・ 2紙に15段1/3広告を掲載。 読売新聞（全国版）：平成26年11月30日（日）・朝刊※P.75参照 平成27年1月10日（土）・朝刊※P.133参照</li> <li>毎日新聞（大阪セット版）：平成27年1月10日（土）・朝刊※P.133参照</li> </ul>
2	バナー広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット、スマートフォン・バナー及びテキスト広告を実施。 平成26年12月24日（水）～平成27年1月9日（金）6,183,572imps</li> </ul>
3	広報用チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。 東京法務局（1,000部） 全国の法務局・地方法務局（980部）※東京法務局を除く。 東京都（500部） 東京都教育委員会（800部） 東京都内区・市（1,225部） 後援団体（475部） シンポジウム実施会場（30部） その他、全国の地方公共団体などに配布。 ※チラシ印刷部数：10,000部</li> </ul>
4	イベント情報サイトへの 広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。全国イベントガイド、イベスタなど計10サイトに掲載</li> </ul>
5	メールマガジンの配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計2回配信。</li> </ul>
6	人権ライブラリーホーム ページへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
7	人権センターホームペー ジへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
8	各種ボランティア団体等 への案内メール配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 震災関係を中心とした各種ボランティア団体等に対して、案内メールを配信。配信先は約650件。</li> </ul>

## 新聞・バナー広告

**人権シンポジウム in 東京** 入場無料

# 震災と人権

～被災者の方々の心に寄り添う復興のために～

東日本大震災の発生から4年が経とうとしています。現在も被災地では復興に向けて様々な取組が行われていますが、高齢者や障がいのある人など、よりきめ細やかなサポートを要する方々や、福島第一原子力発電所事故の影響により多大な被害を受けた農業・漁業者の方々などにとって、「復興」への道のりはまだまだ長く、遠い状況にあります。このシンポジウムでは、被災地の実情や改善策、復興へのコース等の議論を通じ、復興・防災計画を推進するに当たり、全ての被災者の人権に配慮することの重要性について考えます。

日時 2015年 **1月10日** 会場 **よみうり大手町ホール**  
 13:30～17:05(開場12:30)  
 定員 **220名(事前申込制/先着順)**

〈トークショー〉  
 出演者：なすび、劇団「なすび舞臺」主宰、なすびと一緒にみんなで東北応援隊！

〈シンポジウム〉  
 司会：布部 龍一、小谷 健介、西辻 一真、横田 洋三

お申し込み・お問い合わせ  
 TEL 03-5777-1802 FAX 03-5777-1803  
 Eメール event2014@jinken.or.jp http://www.jinken.or.jp

【半5段広告】(左上)  
 読売新聞(東京本社版)  
 掲載日:平成26年12月22日(月)夕刊  
 エリア:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県の一部  
 部数:2,141,694部

【半2段広告】(左下)  
 毎日新聞(東京本社版)  
 掲載日:平成26年12月26日(金)夕刊  
 エリア:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県の一部  
 部数:331,990部

【小枠広告】(右下)  
 読売新聞(東京本社版)  
 掲載日:平成27年1月5日(月)夕刊  
 エリア:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県の一部  
 部数:2,141,694部

企画・制作/毎日新聞社広告局(広告)

人権シンポジウム in 東京 入場無料  
 1月10日(土) 13時30分～17時55分  
 よみうり大手町ホール(東京都千代田区大手町1-7-1)

【バナー広告】  
 336x280: レクタングル(大)

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会  
**人権シンポジウム in 東京** 入場無料  
**震災と人権**  
 ～被災者の方々の心に寄り添う復興のために～  
**1月10日**  
 よみうり  
**大手町ホール**

468x60: バナー

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会  
**震災と人権** 1月10日  
 入場無料  
 人権シンポジウム in 東京  
 ～被災者の方々の心に寄り添う復興のために～ よみうり大手町ホール

728x90: ビッグバナー

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会  
**震災と人権** 1月10日  
 入場無料  
 人権シンポジウム in 東京  
 ～被災者の方々の心に寄り添う復興のために～ よみうり大手町ホール

160x600: ワイドスカイスクレイパー

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会  
**人権シンポジウム in 東京** 入場無料  
**震災と人権**  
 ～被災者の方々の心に寄り添う復興のために～  
**1月10日**  
 よみうり  
**大手町ホール**

## 実施内容の周知

### YouTube 人権チャンネル

人権シンポジウム in 東京 第一部の様子は、YouTube人権チャンネルにおいて動画を配信した。  
<https://www.youtube.com/jinkenchannel>

